

三鷹市立大沢谷小学校 令和5年度【特別の教科 道徳】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文を通して、友達の考えを知ること、自分の生活と結び付けながら考えることができるようになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解はしているが、行動に結び付けることが難しく、繰り返し指導していく必要がある。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活経験が少ないため、道徳的価値について自分事として考えることが難しい。</li> <li>・全体での話し合いにより多様な考え方を知ることができているが、一人ひとりが自分の考えと比べたり、自分事として深めたりすることにつなげることは難しい。</li> <li>・道徳的価値や理想の姿として考えられるが、実生活と結び付けられるように、他教科や普段の生活との関連し継続的に意識させていく必要がある。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題に対して自分とつなげて考えさせる発問や場面が少ない。</li> <li>・教材や友達の考えを自分と結び付けて考えさせることが難しい。</li> <li>・学んだことを自分の生活や生き方と結び付けて振り返りをさせる時間が不足しがちである。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分事として考えやすくするために、自分の生活や感情を振り返ることができる具体的な場面や導入をICT機器等を使って提示する。</li> <li>・話し合いの前に学習内容を示すことで動機付けをし、多様な考えを知りたり、互いの考えを尊重し合えたりするよう、教員が整理していく。</li> <li>◎自分事としての学習の振り返りをしやすくするために、他教科との関連や普段の生活で継続的に意識できるような振り返りや掲示を工夫する。</li> </ul>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通した経験が増えるに従い、日常生活を振り返りながら、自分事として考えられるようになってきた。</li> <li>・友達と考えを聞き合うことで、思考の変容などの自分の考えを振り返りやすくなった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書くことに苦手意識をもつ児童の考えを引き出し、深く考えさせることが課題である。</li> <li>・自分の考えに關する児童の思考を広げ、深めていく工夫が必要である。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材については自分なりに判断しながら捉えようとしているが、状況理解の面では個人差がある。</li> <li>・自分の行動を振り返ることはしているが、心算で自分で深く考えることはまだできていない。</li> <li>・自分の考えはもつことは出来るが、自分と違う考えや行動を受け入れたり認めたりして、考えを深めていく児童は少ない。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材では考えられても、「自分事」として深めさせることが不十分である。</li> <li>・知識や理解として捉えているものを実際の生活の中での道徳教育に結び付けていく必要がある。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目とその授業のめあてを明確に結び付けたり、児童がより自分事として捉えられるように発問を工夫したりする。</li> <li>・日常生活での具体的な場面と結び付けて考えることで、自分たちの課題だと意識させ、きれいで終わらないように工夫する。</li> <li>◎友達の考えをしっかりと聞くことで自分の考えを広げ、自分の意見も相手の意見も大切にできるようにする。また、友達の考えを聞いたあとに自分の考えを再度振り返る時間をつくり、より深く考えられるようにする。</li> </ul>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の友達と考えを互いに伝え合う中で、自分の考えと友達の考えを比べながら、様々な意見のよさに気づくことができた。</li> <li>・ねらいである道徳的価値にせまる際に、自分事として捉えられる児童が増えた。</li> <li>・学習内容と実際の行動とが結び付いていない。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事に対する善悪の判断・区別はできている。</li> <li>・題材における主人公の行動や出来事に対して、自分なりの意見を持ち、周囲の友達と積極的に意見交換する児童が増えてきている。</li> <li>・自分と異なる視点の友達の考え方に気づき、素直に受け入れる児童が増えてきている。</li> <li>・授業の主題と異なる考えをもち、真面目に取り組めない児童がいる。</li> <li>・学習の振り返りでは、自分の生活と学習内容を結び付けて考えることが難しい児童がいる。</li> <li>・授業で学習したことを実生活に生かすことが難しい。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の内容や主題を自分のこととして捉えられない児童がいるまま授業を進めてしまうことがある。</li> <li>・学んだことと実践とが結び付いていないと感じる場面が多々あることから、学んだことと実践を結び付ける指導が課題である。</li> <li>・周囲の友達と意見交換がすすまない児童がいる。話せる友達を近くにしたり、主題を明確にしたりして話せる場にする。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を提示した後、状況や出来事を簡単に整理したり可視化したりし、内容や主題が多量の児童に理解できるようにする。</li> <li>◎教材の中で感じたことや考えたことを、実際の場面で自分ができているかを振り返る時間を設けることで、学習内容と自分の生活を結び付けられるようにする。</li> <li>・まず自分の意見がもてるように、板書の工夫や場面の動作化なども取り入れる。話し合いの際には、自分と友達の考えの差異に気づき、どちらも受容しつつ自己の考えを深めることへの価値付けを行う。</li> </ul>
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで自分の考えを伝え合うことで、様々な考えに触れ、深めることができた。</li> <li>・ある意見に対する児童の立場を視覚的に分かりやすくすることで、以前に比べ、簡単な議論を行うことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者意識をもって学習に取り組むことができていない。</li> <li>・道徳科によって児童がどのような変容を辿ることができているか不明である。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えをもちながら、授業に参加することができている。</li> <li>・道徳的価値については理解しているが、自分の生活実態と結び付かない児童がいる。</li> <li>・発言する児童に偏りがある。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問が児童の実態に合っていないときがある。</li> <li>・時間配分がうまくいかず、重点を置きたいところに時間をかけられないときがある。</li> <li>・内容項目によって、授業を行うのが難しく感じるものがある。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の価値観を揺さぶるような発問を工夫する。</li> <li>・考えの時間や書く時間を十分にとることで、自分の生活を振り返り、価値に迫ることができるようにする。</li> <li>◎場面の理解を深めるためにロールプレイを行い、その時に考えた気持ちを言葉にさせていく。</li> </ul>
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動を増やすことで、多様な考えを聞き入れ、認め合ったり、自分の考えを深められるようになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもつことができない児童もいるので、さらに発問、議題、資料提示を工夫していく。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもつことはできるが、自分事として深く考えることができる児童は少ない。</li> <li>・授業内では自分の考えをもつことができても、実生活に生かすことができていない児童がいる。</li> <li>・理想的な考え方はできるが、それは現実では難しいことがあるということに気づいている。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでは意見交流ができるが、自分の考えを全体に発表することにためらいを感じる児童が出てきた。</li> <li>・学習と自分の生活を結び付けられているかを自己評価する場面が少ない。</li> <li>・児童の変容を見取るのが難しい。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合わせ、発表だけでなく記述することでも自分と向き合える場と時間を設定する。</li> <li>・友達の考えをしっかりと聞くことで自分の考えを広げ、自分の意見も相手の意見も大切にできるようにする。</li> <li>・児童が授業で学習する内容を自分の生活と重ね合わせて考えられるように、実生活と結び付ける発問を考える。</li> </ul>
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア活動や小グループの活動をとったことにより、自分の考えを伝え合う児童が増えた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題の項目の理解の時間を短く実生活を振り返った活動を増やしたことで、人物の気持ちが想像できない児童が出てしまった。実態に応じた指導方法の工夫の必要がある。</li> </ul>	<p>＜学習状況の現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題に対して、自分の考えをもつことができるようになり、クラスの仲間に伝えるようになってきているが、言うことで満足している児童がいる。</li> <li>・学んだことをよりよい生活に生かそうと意欲にはつながっているが、実生活に生かすまでには至っていない児童がいる。</li> <li>・友達の考えを聞くときに、自分の考えと比べたり、自分の考えをより詳しくしたりするなど、自分の考えを広げたり深めたりすることができていない。</li> </ul>	<p>＜指導方法の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画が、物語の時間に偏り、実生活と結び付けて考える時間が十分にとれていない。</li> <li>・児童同士が活発に議論できるように、話し合う時間が十分確保されていない。</li> </ul> <p>＜授業改善策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で考えを交流する前に、ペアや小グループで交流する時間を確保する。</li> <li>・授業後半の時間を確保し、実生活を振り返ったり、またはそれを伝え合ったりする時間を十分にとる。</li> <li>・ICT機器を活用し、自分の最初の気持ちと、授業後の気持ちが視覚的に分かるようにし、自分と友達との違いも視覚的に分かるような指導法を工夫する。</li> </ul>